学校番号	２１４

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	書道Ⅰ（光村図書）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道の学習においては、感性をはたらかせて、直感的に作品のよさや美しさを捉えることが重要です。対象となる作品や古典に素直な気持ちで向かいましょう。
・古典の書風や作品を用筆・運筆，字形，全体の構成から捉え，その書風をもたらす根拠を考えるようにしましょう。
・表現の技能の習得は，主として古典の臨書によりますが，ただ枚数を重ねるのではなく，１枚ごとに自分の解決すべき課題や問題点を見きわめ，それを解決するように学習を進めることが大切です。そのために「学習記録」は丁寧に書き，学習過程を振り返ることができるようにしておきましょう。
・制作については「今，自分は何を表現したいか」という表現の意図を大切にし，詩文の選定，用具・用材を選択し，作品を構想し表現を工夫していきましょう。
・授業はチャイムと同時に始めますので,用具を準備し着席を完了させて下さい。
・用具は大切に扱い，特に,筆と墨池はきれいに洗いましょう。
・作品やワークシート等はファイルにきちんと整理しておきましょう。
・「何ができるようになったか」を大切にしたいと思います。１時間の中での進歩，単元をとおしての進歩，学期をとおしての進歩，そして，１年間の学習をとおしての進歩が感じられるような学習への取り組みをして下さい。
・一人一人の個性を生かし，これを伸ばしていくことを学習の第一目標としています。練習する古典や題材とする語句などについて，自分を最高に生かせる選択をしていきたいものです。
・「書道Ⅰ」の学習をとおして，生涯にわたり書を身近な存在として感じられるようになって欲しいと思います。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元名	学習内容	単元の評価規準	評価方法		
				知（a）	思（b）	主（c）
4	書写から書道へ	1:書道で学習すること	a: 書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解している。 c:芸術科書道の学習に関心を持ち、書道で学習することや、小。中学校の国語科書道で学習した内容に関心を持ち主体的に取り組んでいこうとする態度を養っている。	ワークシート 学習記録		ワークシート 学習記録 授業観察
5・6	漢字の書	1:漢字の変遷と様々な書	a:日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解している。 b:漢字の古典の価値と根拠について考え、書の良さや美しさを味わって捉えている。 c:漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心を持ち主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	学習記録	ワークシート 学習のまとめ 小テスト	ワークシート 学習記録

	漢字の書	2:楷書 九成宮醴先銘 孔子廟堂碑 雁塔聖教序 顔氏家廟碑 等	a:（知識）・楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 （技能）・楷書の古典に基づく基本的な用筆。運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 b:・楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ・楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c:・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	提出作品 作品ファイル ワークシート	提出作品 活動の様子	活動の様子 提出作品 作品ファイル ワークシート 「学習記録」
7	篆刻	姓名印（６分）	a：(知識）・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解している。 （技能）・漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につけている。 b：・漢字の書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ・漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c：・主体的に篆刻や刻字の幅広い表現の学字習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に篆刻の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	提出作品 作品ファイル ワークシート	提出作品 活動の様子	活動の様子 提出作品 作品ファイル ワークシート 「学習記録」
8	漢字の書	2:行書 蘭亭叙 風信帖 等	a:（知識）・行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解している。	提出作品 作品ファイル ワークシート	提出作品 活動の様子	活動の様子 提出作品 作品ファイル ワークシート

			(技能）・行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 b:・行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ・行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている c:・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。			「学習記録」
9 ・ 10 ・ 11 ・ 12 ・ 1	芸術祭出品作品制作	・漢字仮名交じりの書 ・少字数 ・書画 等の自由作品 （変更有り）	a：(知識）・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じり文の成立について理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりが取り組む作品において如何に重要であるかを理解している。 （技能）・目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。 ・筆の機能や墨色の効果的な表現を身に付けている。 b：・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している ・ 創造された作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 ・自分の思いを用途に応じた要素（字形、大きさ、構成、墨色等）を使い、どのように表現してくか、したらよいのかを考え工夫している。 c：・自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	提出作品 作品ファイル ワークシート	提出作品 ワークシート	活動の様子 提出作品 作品ファイル ワークシート 制作記録
			・漢字仮名交じりの書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い学習活動に取り組もうとしている。 ・自身の表現の基づく表現、小字数の表現の特質に基づく表の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ・小字数作品のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い学習活動に取り組もうとしている。			

2	仮名の書	1. 仮名の成立 2. 文字の造形 筆遣い 平仮名 変体仮名 連綿	a：(知識）・日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立について理解している。 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。 (技能）・仮名の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質や字形を生かした表現を身に付けている。 b：・仮名の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ・仮名の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている c：・自身の表現の意図に基づく表現、仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ・仮名の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。 （知識）・線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。	提出作品 作品ファイル ワークシート	提出作品 ワークシート	活動の様子 提出作品 作品ファイル ワークシート 学習記録
		3. 蓬莱切 （変更有り）	・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。 （技能）・仮名の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質や字形を生かした表現を身に付けている。	提出作品	提出作品 ワークシート	活動の様子 提出作品 作品ファイル ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

知識・技能の共通事項として

・用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果とのかかわりについて理解している。

・書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解している。